

水野幸男氏を悼む

去る1月24日、本学会元会長の水野幸男氏が逝去されました（享年73歳）。ここに謹んで水野氏のご冥福をお祈り申し上げます。

水野氏は我が国のコンピュータ揺籃期におけるソフトウェア基本技術の開発に専心され、今日の情報化社会の発展に多大な貢献をされました。

ソフトウェア開発プロジェクトリーダー時代は、妥協を許さぬ厳しさをお持ちの反面、その風貌から、“オバQ”とあだ名され、部下からたいへん親しまれました。

近年、劣勢に置かれた日本ソフトウェア産業を憂い、若い技術者がチャレンジ出来る環境を整えるべきであると各方面に説いておられました。

一方、OR活動では、古くはORによる在庫管理を生産現場に取り込み、最近ではOR手法による独創的なソフトウェアパッケージ化を手掛けられ、またORとIT技術の調和を重要視されてきました。

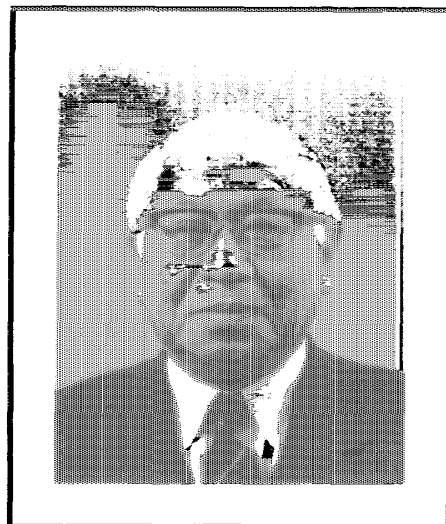
OR学会の活動について、水野氏は企業経営者の立場から、賛助会員数や産業界に在籍する個人会員数が減少しているのではないかと危機感をお持ちでした。

学会長就任のご挨拶では、「OR学会にとって重要なことの一つは、ORを現場で一層役立つものとし、その普及を促進することである」とおっしゃっています。

産業社会の急激な構造変化に対し、ORがリアルワールドの中で、いかに貢献し発展していけるかを理論的・実証的に考究する証として、本学会創立40周年事業の一環としての統合プロセスのマネジメントに関する「統合オペレーション」特別研究プロジェクトの代表を務められ、12ある研究グループを束ねご指導に力を注がれてこられました。

本プロジェクトは氏のご意志を継いで、この春から「常設研究部会」として新たに研究活動を続けることとなります。

水野氏が好んで使われる言葉に「疾風に勁草を知る」があります。優秀な人は、厳しい環境に立ちむかっていける。ORワーカーも時代と共に新しい発想でチャレンジして欲しいとおっしゃっている様に思えま



す。

ORの実践普及に腐心された水野氏に、心から改めてご冥福をお祈り申し上げます。（畑 昭彦）

故水野幸男氏略歴

昭和4年7月16日生まれ

〔学 歴〕

昭和28年3月 東京工業大学工学部卒業

〔職 歴〕

昭和28年4月 日本電気株式会社 入社

昭和37年3月 工学博士（東京工業大学より）

昭和50年6月 同社基本ソフトウェア開発本部長

昭和55年6月 同社取締役

昭和58年6月 同社常務取締役

昭和63年6月 同社専務取締役

平成3年6月 同社代表取締役副社長

平成6年6月 同社特別顧問 技術戦略室長

平成10年6月 日通工（現NECインフロンティア㈱）取締役会長

平成13年6月 NECインフロンティア㈱取締役相談役

平成14年6月 同社相談役

〔受賞・授章〕

昭和57年4月 科学技術功労者表彰受賞

昭和62年4月 OR学会第11回実施賞受賞

平成8年4月 情報処理学会功績賞受賞

平成9年4月 藍綬褒章受章

〔OR学会関係〕

評 議 員 昭和49～平成9年度、平成12～13年度

理事（無任所） 昭和53～54年度

フェロー 平成元年度

会 長 平成10～11年度

名 誉 会 員 平成13年度